■学校施設の鍵の受け渡し等
└福井県鯖江市

3校区それぞれに総合型地域スポーツクラブがあり運営主体として取り組んでいる。各活動は15-20数年続けており、設立当初から中学校部活動と連携して取り組むクラブもある。移行にあたり、平日の部活動と変わらない場所である中学校施設ならびに教育委員会施設を主に活用。活動拠点を中学校するにあたり、休日ならびに夜の中学校開放運営を各運営団体に委託。運営団体は、休日、体育館・校舎での活動ができる体制としてスマートロックおよび校舎内シャッターを利用。

●スマートロック（休日・夜間での運用）

小中学校に体育館等の玄関鍵を収納するボックスを設置し、暗証番号で鍵を取り出すシステムを導入。

・利用時間帯のみ開閉可能な暗証番号を利用団体に発行
・暗証番号は1年ごとに変更
・暗証番号使用履歴は所管課で確認可能
・活動日誌はQRコードを利用
・災害時にも利用

▲スマートロック

費用（入札）：488万円
導入状況：令和5年9月より開始、令和6年度完全実施（12小学校・3中学校）
補助金等：内閣府、デジタル庁のデジタル田園都市国家構想交付金

●中学校校舎内シャッター設置（休日・夜間での運用）

休日の地域クラブ活動が利用できる教室および更衣室・トイレなどと学校教育との動線整備のためシャッターを設置。部外者の不用意な侵入を防ぐ

・廊下に幅1.9m、高さ2.6mのシャッターを設置
・雨天時等の退避部屋を想定
・災害時にも利用想定

▲校舎内シャッター

導入状況：令和5年2月設置、令和8年度完全実施
費用（入札）：526万円
補助金等：スポーツ庁の部活動地域移行促進公立学校施設整備費補助

●中学校 校舎内シャッター・スマートロックの段階的な運用

└令和6年度

学校は休日前にシャッターを降ろし施錠、休日明けに開錠・開放する。地域クラブ活動の指導者・生徒はスマートロック活用による体育館等からの出入りを行う。

└令和7年度

学校は関係教室の施錠、休日明けに開錠。休日、教職員の学校での業務と地域クラブ活動を完全分離。
※休日の教職員の学校業務においては、主任・管理職等での業務把握

└令和8年度

完全実施
※他の社会教育団体や社会体育団体から利用申請があった際の対応については、学校と運営団体で協議しての判断とする。

●体制整備の課題と対応

学校管理規則、学校施設開放に関する規則の改訂
学校施設で施錠が必要な教室、利用可能な教室について学校と運営団体で協議
スマートロックによる休日の学校管理・運用について行政と学校との調整および運営団体への指導
学校設備（校舎内含）や備品利用に関するルール作りを運営団体が行政・学校に提案し、合意できるように調整中
学校は、休日前の関連教室施錠・シャッター降ろし施錠、休日明けの関連教室開錠・シャッター開錠開放等の段取りを教職員間で共有できるよう学校に依頼